



2012年1月6日

雪国※1を除いた  
地域対象

## ～ブリヂストン タイヤセーフティーレポート～ スタッドレスタイヤの「プラットホーム」って何？

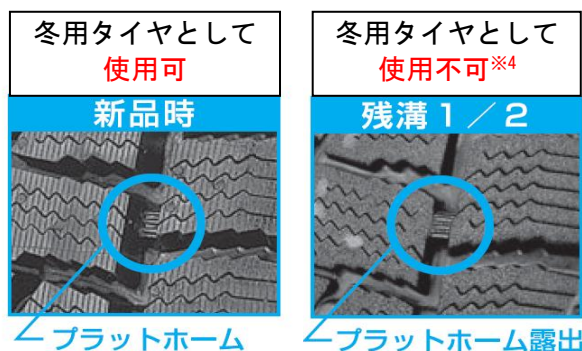
「プラットホーム」を知らない人はなんと約8割  
～ブリヂストン タイヤの安全に関する調査結果～

株式会社ブリヂストン（社長 荒川詔四）は2011年3月1日に創立80周年を迎えたことと、一般社団法人日本自動車タイヤ協会（JATMA）等が推進する「タイヤの日」が4月8日であることを背景に、毎月8日を「ブリヂストン タイヤセーフティーの日」と設定し、2011年3月から2012年2月までの1年間、毎月タイヤの安全に関わる情報を発信します。

今回、雪国を除いた地域に在住し、クルマを月に一回以上かつ雪道を年一回以上運転する男女1,000人※2に対して行った調査※3によると、ドライバーの約8割がスタッドレスタイヤについている「プラットホーム」を知らないことが分かりました。

また、「プラットホーム」を知っているドライバーの約7割が、スタッドレスタイヤの使用限界溝深さを知らないことが分かりました。

「プラットホーム」は冬用タイヤとしての使用限度を示すサインで、新品タイヤが50%摩耗したことを示す段差です。「プラットホーム」が露出した場合、冬用タイヤとして使用することができなくなります（右図参照）。「プラットホーム」が露出した状態で冬道を走行した場合、氷上でのブレーキ性能悪化や雪路・シャーベット路での走行でスリップの可能性が高まります。



この冬、愛車の足元を支えるスタッドレスタイヤは、使い始めてから何シーズン目でしょうか？  
2シーズン目、3シーズン目を迎えているスタッドレスタイヤは、今シーズン途中にも「プラットホーム」が露出するかもしれません。スタッドレスタイヤも、ドライバーや同乗者の安心、安全確保のために、シーズン途中の定期点検が重要です。月に1度のタイヤ点検を忘れずに！

調査データの詳細やタイヤ点検の方法については次ページ以降をご覧ください。

※1 雪国とは北海道・東北6県・北陸4県・長野/鳥取/島根県です。

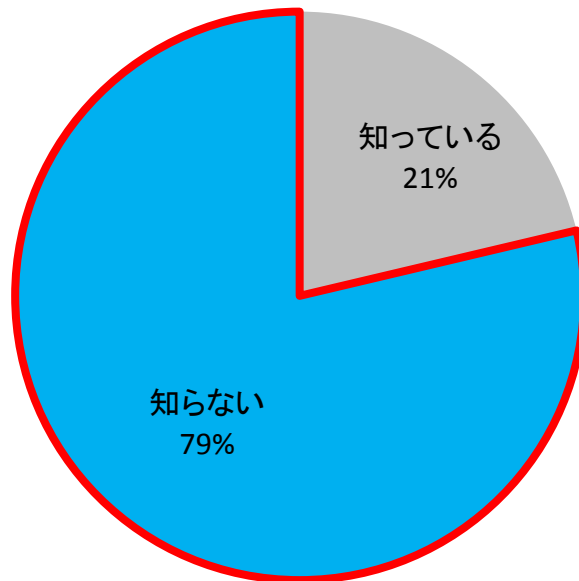
※2 「スタッドレスタイヤ」を知っている方々

※3 ブリヂストンによる調査。雪国を除いた地域在住の18～69歳のドライバー1,000名（男女各N=500）を対象にインターネット調査を実施。調査期間は2011年10月14日（金）～10月16日（日）

※4 夏用タイヤとして継続使用する場合、タイヤの溝深さの使用限度はスリップサインが露出する残り溝1.6mmです。

## 1. スタッドレスタイヤのプラットフォームを知らないドライバーは約 8 割！

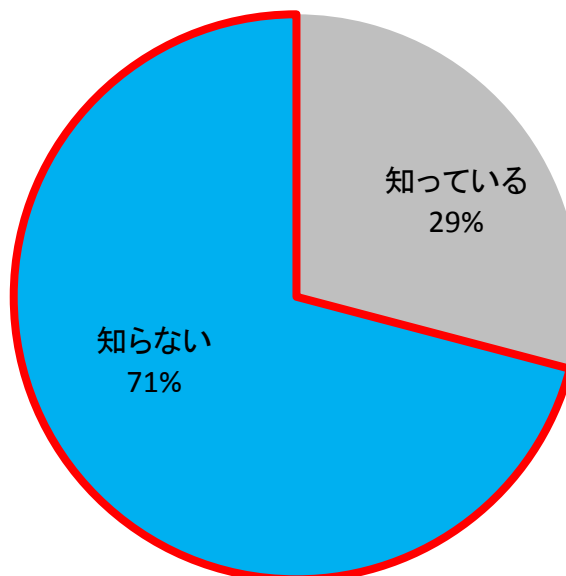
Q.スタッドレスタイヤについているプラットフォームをご存知ですか。



N=1,000 (雪国を除いた地域対象)

## 2. スタッドレスタイヤの使用限界溝深さ(%)を知らないドライバーは約 7 割！

Q.残り溝何%からスタッドレスタイヤとして使用できなくなるか  
ご存知ですか。



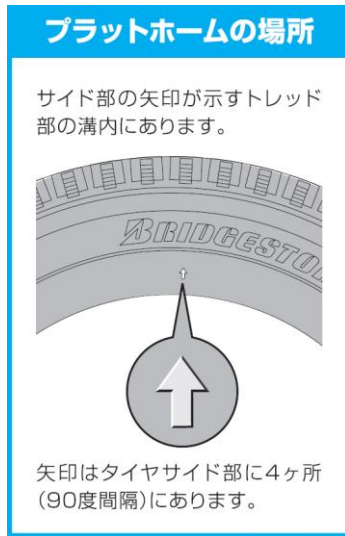
N=213 (雪国を除いた地域対象)

※1. 項「知っている(21%)」の内訳

Check!

### 3. スタッドレスタイヤの点検ポイント

#### (1) プラットホームはどこにある？ / 溝深さは大丈夫？



スタッドレスタイヤのプラットホームは左図のようにタイヤサイド部の周上4カ所にある「↑」マークの延長線上にあります。

#### 〔溝深さの確認〕

- ①「プラットホーム」は出ていませんか？  
※今シーズン乗り切るために十分な溝深さですか？
- ②極端に偏摩耗※していませんか？

※タイヤのトレッド(路面との接地面)が道路条件や使用条件等により、部分的に異常に摩耗する現象です。

#### (2) 空気圧は大丈夫？

#### 特に冬は空気圧の低下が大きい

- 管理が一般的にルーズになる※
- バルブコアの凍結から空気漏れ
- 外気温の低下による空気圧の低下

適切な  
空気圧管理

+

バルブ  
キャップを  
確実に装着

※冬期は、寒い戸外での点検を、つい先延ばしにしてしまう傾向があります。

#### 〔適正空気圧管理の3つのポイント〕

- ①適正空気圧の設定  
自動車メーカーの指定空気圧に対して0~+20kPaの範囲で設定してください。
- ②定期点検・補充  
少なくとも月1回、必ずタイヤが冷えた状態で点検してください。
- ③バルブキャップがしっかり装着されているか、必ずチェックしてください。

#### 冬は特にバルブからの空気漏れに注意！

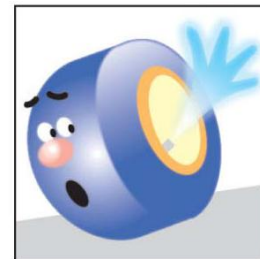
※バルブキャップがないと雪や氷により、バルブコアから空気漏れが起こりやすくなります。



バルブコアに  
雨や雪が付着



雨や雪が凍結し  
バルブを押す



空気漏れ

#### (3) タイヤに傷はありませんか？

#### (4) ナットは緩んでいませんか？

Check!

雪が降らなくても冬の路面は危険がいっぱい



- 日没後は、路面が急に凍結しやすい。
- 凍結路面に日が当たると、氷の表面に「水の膜」ができて滑りやすい。
- 特に橋の上は道路の下からも冷やされ、早く凍結しやすい。
- 信号や踏切の手前は発進や停車が多く、つるつるの凍結路面になりやすい。
- 降雪の多かった後は、路面が凍結と新雪の2重構造になり滑りやすい。

冬のドライブには十分気をつけましょう！！

毎月8日「ブリヂストン タイヤセーフティーの日」にはタイヤ点検を行う習慣を身につけましょう。詳しいタイヤ点検の方法や、タイヤの安全についてはこちらまで。

ブリヂストンタイヤセーフティー：<http://www.bridgestone.co.jp/csr/tiresafety/index.html>

スタッドレスタイヤの点検方法：<http://www.bridgestone.co.jp/sc/blizzak/swd/check.html>

以上

本件に関するお問い合わせ先

<報道関係> 広報第2課 TEL：03-3563-6811

<お客様> お客様相談室 TEL：0120-39-2936